

瓜二つすぎる本誌ベストのPLAUD Noteと比較!

メーカー/製品名	Notta Zenchord 1	Notta Notta Memo	Nicebuild PLAUD NOTE
価格	2万6900円(販売予定価格)	2万3500円	2万7500円
発売日	クラウドファンディング中	2025年6月16日	2023年10月
サイズ	ケース: 約W87×H28×D65mm・75g(実測値)	W55.1×H86.1×D3.5mm・約28g	W54.1×H85.6×D2.99mm・29.5g
マイク構成	6つの高性能マイク(イヤホンとケース合わせて)	MEMS×4+通話録音用の骨伝導マイク×1	MEMS×2+通話録音用の振動伝導マイク
録音時間	イヤホン単体10時間/ケース併用30時間	約30時間(連続録音)	30時間(連続録音)
バッテリー容量	非公表	470mAh	400mAh
充電時間	1.5時間	約1.5時間	2時間
内蔵ストレージ	非搭載	32GB	64GB
スマホへの転送	Bluetooth	Bluetooth & Wi-Fi	Bluetooth/Wi-Fi/ケーブル
録音モード	通話録音・会議録音	通話録音・会議録音	通話録音・通常録音
多言語対応	58言語対応・有料プランで翻訳可能(無料のスタータープランは月2回まで)		112言語対応
専用アプリ	Notta		PLAUD
言語モデル	Claude 4, Gemini 2.5, GPT-4o		Claude 4, GPT-4.1, o3-mini, Gemini 2.5 Proなど(選択可能)
リアルタイム文字起こし	対応		非対応
無料プラン	文字起こし月300分 要約(月30回)		文字起こし月300分・保存容量無制限
テンプレート・AI要約(無料プラン)	30種以上のテンプレート・AI要約・AIチャット		13種類以上のテンプレート・AI要約・マインドマップ
有料プラン	プレミアム(月1185円) ビジネス(月4180円)		600分(1500円)、3000分(8000円)、6000分(1万3000円)、年間プロプラン(1万6800円)、年間無制限プラン(4万円)
セキュリティ	SOC2, ISO, GDPR, CCPA, HIPAA 対応		SOC2, データ暗号化

まずNotta Memo、Zenchord 1、PLAUD NOTEのスペックを詳しくみてみましょう。ハードウェアの大きな違いはストレージ容量とマイクの数。まず、イヤホンのZenchord 1はストレージ非搭載なので、イヤホンやケースを経由してスマホに録音する仕組み。Notta MemoとPLAUD NOTEは本体に録音でき、外観や構造も酷似しています。違いはディスプレイの有無、ストレージ容量とマイク数くらいです。



Notta Memoは充電方法やボタン配置がPLAUD Noteにそっくり。Nottaには小さなディスプレイもあります



Notta MemoとPLAUD Noteはスマホの背面に装着して「通話録音」モードにすると、マイクがスマホのスピーカーからの振動を拾うために骨伝導マイクに切り替わり、通話やYouTube動画などの録音が可能になります

AIボイスレコーダーで最も気になるのは文字起こしの精度でしょう。そこで、LINE通話、静かな環境と雑音の多い環境での会話録音を試しました(会話

は条件統一のため会話形式の動画を再生して録音)。3製品とも、発言者の声が小さい・反響する・雑音の大きいシーンでは文字起こしや発言者の識別精

度が急低下。ただ、精度の低い文字起こしでも要約は生成AIの推論が効いているのか意外と的を射っていました。以下の画面は静かな環境での会話です。

文字起こしはプラウドが優勢、Nottaは話者の識別が苦手

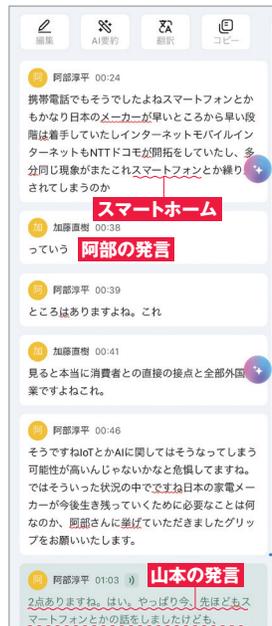
Zenchord 1 (イヤホン)

動画音声イヤホンで取り込んでいるため、このシーンでは「スマートホーム」を唯一正しく認識



Zenchord 1 (ケース)

NottaはPLAUDより話者識別が苦手であるシーンでは男女の区別がつかなくなることも……



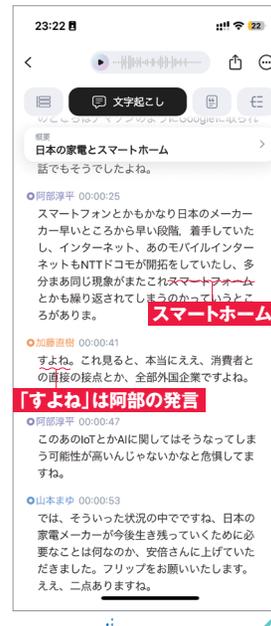
Notta Memo

このシーンでは話者識別に失敗しており、誤字も多め。うるさいシーンでは精度がかなり低下。



PLAUD NOTE

このシーンでは話者識別が的確! またうるさい環境では精度が急低下しますがNottaよりは良好



アプリの完成度はPLAUD、PC利用はNotta

結論

スマホで完結なら、プラウド

パソコンとの親和性はNottaだが

優秀 言語モデルを変えて
要約などの精度を向上可能



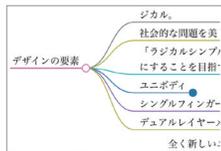
PLAUDは文字起こしや要約をするAIモデルをClaude、GPT、Geminiから選べます。Nottaは選べません



優秀 要約に加え、ToDoと課題も指摘
さらにマインドマップも自動生成



PLAUDはマインドマップで議論の筋道を概観したり、議論の改善点を提案したりと、生成AIの活用が上手です

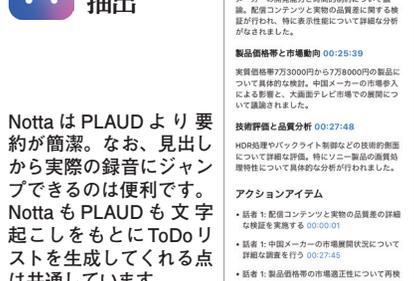


合格 リアルタイム書き起こしと翻訳



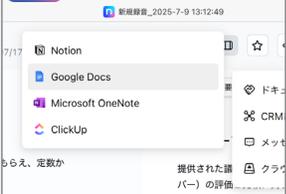
Nottaの2製品は文字起こしや翻訳をリアルタイムで表示。ただし、事前に発言者の言語と訳文の言語をアプリで指定する必要があるのが惜しい。訳文含め最大3言語までの対応です

良好 要約とToDoを抽出



NottaはPLAUDより要約が簡潔。なお、見出しから実際の録音にジャンプできるのは便利です。NottaもPLAUDも文字起こしをもとにToDoリストを生成してくれる点は共通しています

優秀 PCで使うブラウザ版は機能充実!



NottaもPLAUDもブラウザ版をPCから利用可能ですが、Nottaのほうがサービス連携など機能充実

オンラインも録音したいなら、Zenchord 1だが……

Zenchord 1はYouTube動画やZoom等の書き起こしに便利。対面ならケースを使っでの録音もできます。ただし、イヤホン録音・ケース録音ともに、録音前にNottaアプリへペアリングする必要あり。また、アプリ(通話やZoomなど)を録音する際は音声を流してから録音を開始しないと記録されません(つまり、録音開始後にYouTubeなどの再生してはダメ)。使い勝手に課題ありという印象です。



オンライン講義の書き起こしにも便利!

Zenchord 1は「スタジオクオリティに限りなく近い音楽体験」も標榜していますが、音楽再生の音は軽薄で高音がきつくと、スタジオクオリティとはほど遠いサウンド。音楽再生には不適切です

一方、Nottaは「クラウドサービスが発売したハードウェア」であることが特徴。Nottaのサービスそのものは法人利用が多くGDPRなど日米欧のプライバシー基準に準拠しているのでセキュリティ面で安心感がありますし、ブラウザ版ならマインドマップ作成

今回は「プラウドノート」と「Notta Memo」「ゼンコード1」の3製品を比較しています。今回、さまざまな条件で文字起こし・要約を試しました。どちらも言語モデルはほぼ同じですが、実感として高精度なのはプラウドのほう。マインドマップや課題を指摘する機能など録音データを「次に生かす」導線づくりがうまいのが特徴です。翻訳機能の不足以外、AIボイスレコーダーとしての完成度が高く、ベストバイに選出しました。

ボイスレコーダーとしてはプラウドがやや優勢です



編集部 阿部

まとめ Zenchord 1

総合 **B** 3.42

文字起こし(雑音多)	2.0/5点
文字起こし(通話)	4.5/5点
文字起こし(静か)	4.0/5点
使い勝手	6.0/10点
バッテリー持ち	4.0/5点
総合	20.5/30点

- ◎ イヤホン経由では高精度!
- ▲ ペアリングしないと録音できない
- ▲ 操作性の作り込みが甘い

まとめ Notta Memo

総合 **B** 3.50

文字起こし(雑音多)	3.0/5点
文字起こし(通話)	3.5/5点
文字起こし(静か)	2.5/5点
使い勝手	8.0/10点
バッテリー持ち	4.0/5点
総合	21.0/30点

- ◎ 翻訳機能やセキュリティ
- ▲ 文字起こし品質が低め
- ▲ 要約系の機能がアプリでは少なめ

まとめ PLAUD NOTE

総合 **B** 4.08

文字起こし(雑音多)	3.5/5点
文字起こし(通話)	4.0/5点
文字起こし(静か)	4.5/5点
使い勝手	8.5/10点
バッテリー持ち	4.0/5点
総合	24.5/30点

- ◎ 文字越し精度がNottaより安定
- ◎ AIを使った機能が充実・便利
- ▲ 翻訳ができない

成やゲーグルワークスペースなどの連携機能も充実。画面を収録して文字起こしすることもできます。スマホ中心ではなく、PC中心のワークフローならNottaでしょう。なお、イヤホン型のゼンコードはぜひストレージを内蔵するように改良してほしいです。

予約

アジアでの製造パートナー
アジア全域に製造パートナーを持ち、中国とベトナムを中心に分散されたサプライチェーンを構築している。

・トランプ大統領の政策影響
北米向け製品はベトナムから出荷しており、中国からの影響を最小限に抑えている。

結論
アロポットジャパンは2024年に国内出荷台数600万台を達成し、今後も日本市場での成長を目指して新製品を投入し、競争優位性を強化していく。

次回の手予定
1. 新製品は第二部で詳しく紹介される予定。
2. 2030年までにクリナー市場でのブランドシェア20%を目指す。
3. 13時より第3部の製品プレゼンテーションを開始
4. 広報のホワイエにて観覧を提供

AI提案
録音されたトランスクリプトに基づいて、いくつかのインビュー質問を最適化することができます。AIからの参考として以下の提案があります:
質問が具体的に欠けているため、より詳細な情報を引き出すためには、質問の目的を明確にし、具体的な数値や目標を尋ねることが重要です。例えば、「日本市場での成長戦略について具体的に教えてください。また、どのような消費者ニーズに対応しようとしていますか?」といった形で、質問を具体化することができます。